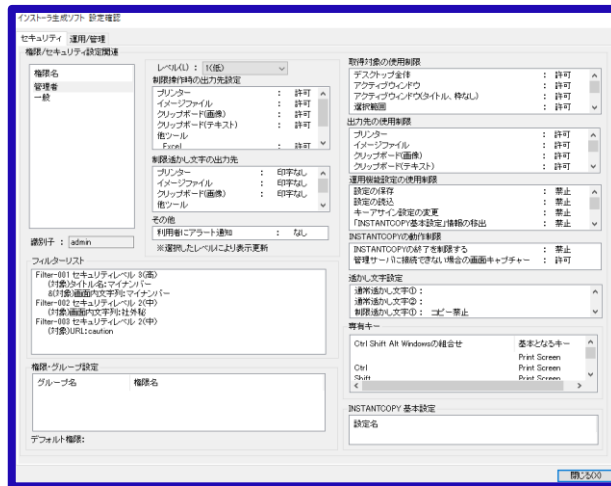
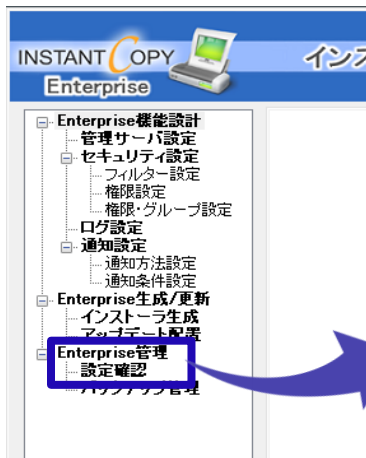




Tips セキュリティ機能の設定値の確認方法をご紹介します。

設定確認

詳細メニューの「Enterprise管理-設定確認/セキュリティタブ」から、設定内容を確認できます。一つの画面で、権限ごとの設定内容を確認できるので、セキュリティ設定全体の把握に効果的です。

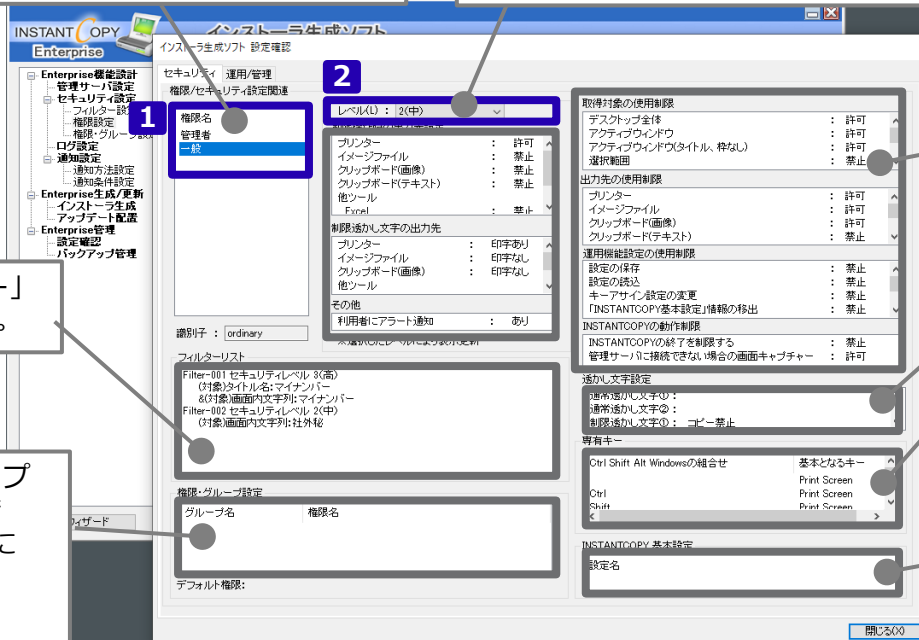


セキュリティ機能の設定値を確認してみよう (2/5)

権限名リストで選択されている **1** 「権限名」と、レベルで選択されている **2** 「セキュリティレベル」 ごとに設定内容を確認できます。

「権限名」が確認できます。
確認したい権限名を選択します。

レベルごとの「アクション設定」を確認できます。
確認したいレベルを選択します。



「使用制限設定」を確認できます。

「透かし文字設定」を確認できます。

「専用キー設定」を確認できます。

INSTANTCOPYの「設定の保存」機能で作成した「基本設定ファイル」を使用した場合に表示され確認できます。

「適用フィルター」を確認できます。

「権限・グループ設定」画面で設定した場合に表示され確認できます。

セキュリティ機能の設定値を確認してみよう (3/5)

設定を変更する場合は、下記の手順もしくは製品添付のマニュアルをご参照ください。

The screenshot shows the 'Enterprise Security Management' console with several callout boxes:

- Tips7の手順1 「権限名の設定」**: Points to the '権限名' (Privilege Name) field in the '権限/セキュリティ設定関連' (Privilege/Security Settings) section.
- Tips7の手順2 「NGワードを設定」**: Points to the 'Filter-001' and 'Filter-002' entries in the 'フィルターリスト' (Filter List) section.
- Tips7の手順3 「印刷など出力に関する設定」**: Points to the '制限操作時の出力先設定' (Output destination setting during restriction operation) table.
- マニュアル 「セキュリティ機能使用手引書」 「5.1.4.4 使用制限設定」**: Points to the '取得対象の使用制限' (Usage restriction for acquisition target) section.
- Tips7の手順3 「印刷など出力に関する設定」**: Points to the '出力先の使用制限' (Usage restriction for output destination) section.
- マニュアル 「セキュリティ機能使用手引書」 「2.2.2.6 専有キー設定」**: Points to the '専有キー' (Reserved Key) section.
- マニュアル 「セキュリティ機能使用手引書」 「2.2.2.7 基本設定の読込」**: Points to the 'INSTANTCOPY 基本設定' (INSTANTCOPY Basic Settings) section.

レベル(L) : 2(中)	設定
プリンター	: 許可
イメージファイル	: 禁止
クリップボード(画像)	: 禁止
クリップボード(テキスト)	: 禁止
他ツール	: 禁止
Excel	: 禁止

設定	出力先
プリンター	: 印字あり
イメージファイル	: 印字なし
クリップボード(画像)	: 印字なし
他ツール	: 印字なし

項目	設定
デスクトップ全体	: 許可
アクティブウィンドウ	: 許可
アクティブウィンドウタイトル、枠なし	: 禁止
選択範囲	: 禁止

項目	設定
プリンター	: 許可
イメージファイル	: 許可
クリップボード(画像)	: 許可
クリップボード(テキスト)	: 禁止

項目	設定
設定の保存	: 禁止
設定の読込	: 禁止
キーサイン設定の変更	: 禁止
「INSTANTCOPY基本設定」情報の移入	: 禁止

項目	設定
INSTANTCOPYの終了を制限する	: 禁止
管理ツールに接続できない場合の画面キャプチャー	: 許可

キー	設定
Ctrl Shift Alt Windowsの組合せ	: 基本となるキー
Print Screen	: 基本となるキー
Ctrl Shift	: 基本となるキー
Print Screen	: 基本となるキー
Print Screen	: 基本となるキー

項目	設定
設定名	: 設定名

【例1】 **Tips6**の設定例をもとに、権限名「一般(ordinary)」、**レベル「1(低)」**の表示画面を説明します。
 セキュリティ制限：特定文字列を設定。 制限時の動作：注意喚起で業務続行。

【権限名】

- 3つの権限、「管理者(admin)」「一般(ordinary)」「ゲスト(guest)」

「一般」の設定確認

【レベル 1(低)の場合】
制限操作時に

- 出力先（プリンター、イメージファイルなど）は全て、「許可」
- 制限透かし文字は、すべての出力先で「印字あり」
- 制限操作時に、利用者にアラート通知は「なし」

【取得対象の使用制限】

- デスクトップ全体、アクティブウィンドウ、オブジェクトは「許可」

【出力先の使用制限】

- プリンター、イメージファイル、クリップボード(画像)、Excel、Word は「許可」

【透かし文字設定】

- 制限操作時に出力される透かし文字は下記
 「コピー禁止」の文字列と「日付 ユーザID」

【フィルター（制限操作）】

- 画面内文字列に「社外秘」「個人情報」「印刷禁止」「住所録」がある場合、セキュリティレベルは全て、1(低)

セキュリティ機能の設定値を確認してみよう (5/5)

【例2】 **Tips7**の設定例をもとに、権限名「一般(ordinary)」、**レベル「2(中)」**の表示画面を説明します。
セキュリティ制限：対象条件ごとに特定文字列を設定。 制限時の動作：情報レベルに応じた制限。

【権限名】

- 2つの権限、「管理者(admin)」「一般(ordinary)」

「一般」の設定確認

【レベル 2(中) の場合】

制限操作時に

- 出力先は、**プリンターのみ「許可」**
- 制限透かし文字**は、出力先が**プリンター**の場合「**印字あり**」
- 制限操作時に、利用者に**アラート通知は「あり」**

【取得対象の使用制限】

- デスクトップ全体、アクティブウィンドウ、オブジェクトは「許可」**

【出力先の使用制限】

- プリンター、イメージファイル、クリップボード(画像)、Excel、Word は「許可」**

【透かし文字設定】

- 制限操作時に出力される透かし文字は下記
「**コピー禁止**」の文字列と「**日付 ユーザID**」

【フィルター (制限操作)】

- タイトルもしくは画面内文字列に「**マイナンバー**」がある場合、セキュリティレベルは**3(高)**
- 画面内文字列に「**社外秘**」がある場合、セキュリティレベルは**2(中)**